



令和4年7月11日発行

かわみなみ



川南町の人口

休日在宅当番医

総人口	14,822 人	(先月比 28)
世帯数	6,024 世帯	(先月比 32)
男	6,977 人	(令和4年6月1日現在)
女	7,845 人	

7月17日	喜多医院
7月18日	尾鈴クリニック
7月24日	川南病院
7月31日	糸井病院

8月7日	川南病院

7月後半と8月前半の行事予定



【7月】	行事	時間	場所
15日 (金)	3歳児健診	13:00~13:30(受付)	保健センター
19日 (火)	母子手帳交付	15:00~(受付)	保健センター
20日 (水)	農業用廃プラスチック収集(廃ポリ) 乳児健診 小中学校1学期終業	9:00~15:00 13:00~13:30(受付)	尾鈴地区廃プラスチック集積所 保健センター
29日 (金)	農業委員会定例総会 令和4年川南レインボーサミット	9:00~ 9:20~12:00	庁舎本館3階第1会議室 サンA川南文化ホール研修室
【8月】			
1日 (月)	母子手帳交付 宮崎県人権啓発強調月間(~31日)	15:00~(受付)	保健センター
3日 (水)	農業用廃プラスチック収集(廃ビニール)	9:00~15:00	尾鈴地区廃プラスチック集積所
4日 (金)	人権・行政相談日 フッ化物塗布	9:00~15:00 13:00~13:30(受付)	庁舎別館1階第2会議室 保健センター

交通安全優良運転者を募集します

令和4年度高鍋地区交通安全優良運転者表彰が実施されます。この制度は、永年にわたり無事故・無違反を続け、他のドライバーの模範となる方の表彰を行うものです。表彰に先立ち、対象となる交通安全優良運転者を募集します。

- 【推薦要件】
- 1、現に運転免許を保持し、運転を日常的に行っていること。
 - 2、過去5年間に交通違反が無く、自己の責任による交通事故も無いこと。
 - 3、交通安全協会員（運転免許更新時に協会費を納入されている方）であること。
 - 4、過去に同種表彰以上を受けていないこと。

【お申込み】 まちづくり課地域あんしん係までお申込みください。また、右のQRコードからもお申込みできます。

詳しくは、まちづくり課地域あんしん係（☎0983-27-8002）まで
記事 ID:7997



申込み
QRコード



裏面も御覧ください。

令和4年度川南町職員採用試験を行います

令和4年度川南町職員採用試験を次のとおり実施します。

【募集職種】一般事務、建築、保育士、社会福祉士
※採用予定人数は、それぞれ若干名です。

【試験日時】(1) 一次試験 9月18日(日)
(2) 二次試験 一次試験合格者に対し、10月下旬に実施予定
※会場は、共に川南町役場を予定しています。

【受付期間】7月11日(月)午前8時30分から8月1日(月)午後5時15分まで

【申込方法】川南町ホームページから、インターネットによる申込みをしてください。
詳しくは、総務課職員係(☎0983-27-8001)まで
記事ID検索：[5703](#)



町道の危険木伐採に対して補助金を交付します

地域交通の安全確保のため、危険木の伐採に係る費用について補助金を交付します。補助対象は、町道沿いの樹高10m以上の立木伐採です。なお、事前着工は、対象外となりますのでご注意ください。

予算に限りがありますので、お早めに御相談ください。
詳しくは、建設課管理保全係(☎0983-27-8013)まで
記事ID検索：[1050](#)



墓地の利用に関するお願い

墓地は多くの方が共同で利用されます。

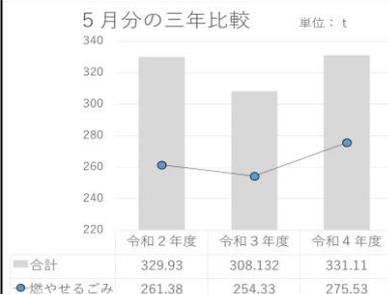
使用したお供え物や花など各墓地の決められた方法で処分し、不法投棄は絶対に行わないでください。
マナーを守り、利用しやすい環境づくりに御協力ください。
詳しくは、環境水道課環境対策係(☎0983-27-8010)まで

ごみの減量化に御協力ください

本町の5月分のごみの現状は次のとおりです。5月は、昨年度の同月より増加していました。より一層ごみの減量化に御協力ください。

令和3年5月	308.132 t	(うち燃やせるごみ量	254.33 t)
令和4年5月	331.110 t	(うち燃やせるごみ量	275.53 t)
増減	22.978 t		21.20 t

詳しくは、環境水道課環境対策係(☎0983-27-8010)まで
記事ID検索：[6586](#)



特別児童扶養手当を支給します

特別児童扶養手当は、精神や身体に中程度以上の障がいを持つ20歳未満の児童を扶養している父、母又は扶養者に支給されます。障がいの程度は、医師が作成した定められた様式の診断書により判定されます。

【手当の月額】1級(重度)52,500円 2級(中度)34,970円

【支給月】4月(12~3月分)、8月(4~7月分)、11月(8~11月分)

支給要件や所得制限があります。福祉課社会福祉係で申請していただき、県が判定を行います。

詳しくは、福祉課社会福祉係(☎0983-27-8007)まで
記事ID検索：[1346](#)



農村センターの利用を再開します

新型コロナウイルスワクチンの集団接種のため、利用を制限していました農村環境改善センターについて、令和4年10月1日（土）から一般利用を再開します。
予約及び使用申請の受付は、教育課文化スポーツ係（☎0983-27-8020）まで
記事 ID 検索：[8138](#)



マイナンバーカード休日窓口及び平日窓口延長のお知らせ

毎月第1日曜日は、午前8時30分から正午まで、午後1時から5時まで窓口を開庁します。次の休日窓口は8月7日（日）です。
また、毎月最終月曜日は、午後7時まで窓口を延長します。次の窓口延長は7月25日（月）です。
マイナンバーカードをまだお持ちでない方は、この機会をぜひ御利用ください。
詳しくは、町民健康課住民係（☎0983-27-8005）まで

マイナポイント第2弾が始まりました

国が実施するマイナポイント第2弾において、川南町では、川南町電子地域通貨「トロン」にて次のとおり取組みを行います。

【申 込 期 間】令和5年2月28日まで

【申 込 会 場】まちづくりトロンTMO事務局（商工会館1階）
平日午前9時から午後5時まで

【付与ポイント】

- 1 マイナンバーカード新規取得等 窓口にて20,000円チャージして25,000ポイント付与
- 2 健康保険証としての利用申込み 国7,500ポイント+町2,500ポイント=10,000ポイント付与
- 3 公金受取口座の登録 国7,500ポイント+町2,500ポイント=10,000ポイント付与

※ポイント付与の町上乗せ分については、予算がなくなり次第、終了となりますので御了承ください。

詳しくは、産業推進課商工水産係（☎0983-27-8011）まで

記事 ID 検索：[1437](#)



かわみなみ開拓塾の講師を募集します

中学生を対象とした標記講座を次のとおり開催します。つきましては、講師を務めていただく大学生を募集します。

【日 時】令和4年8月16日（火）から8月22日（月）の7日間

【場 所】サンA川南文化ホール、川南町役場

【活動内容】中学生を対象とした講話、自由学習における学習支援、ワークショップの運営補助

【報 酬 等】1日当たり12,000円、現住所から本町までの往復旅費の一部（航空チケットなど）

【申込締切】令和4年7月29日（金）

詳しくは、まちづくり課人口対策係（☎0983-27-8002）まで

記事 ID 検索：[5658](#)



7月は「社会を明るくする運動」強調月間です

犯罪や非行のない安全で安心な暮らしをかなえるために、今、何が求められているのか、そして、自分には何ができるのかを、皆さんで考えてみませんか。

詳しくは、福祉課社会福祉係（☎0983-27-8007）まで

記事 ID 検索：[5562](#)



伊倉浜海岸清掃活動ボランティアを募集します

川南町ボランティアセンターでは、今年も伊倉浜海岸の一斉清掃活動を行います。参加を希望される方は、川南町社会福祉協議会までお申込みください。

【日 時】令和4年7月30日(土) 午前6時から7時まで

【場 所】川南町伊倉浜海岸

【活動内容】海岸の一斉清掃活動(ごみ拾い)

【準備物】軍手、タオル、帽子、マスク着用(靴は長靴がおすすめです。)

【申込締切】令和4年7月15日(金)

詳しくは、川南町社会福祉協議会(☎0983-21-3802)又は[Web](#)で



民生委員・児童委員の全国一斉改選が行われます

民生委員・児童委員は、地域の身近な相談役として、日々様々な問題解決に向けて、熱心に取り組んでおられます。誰もが安心して生活できる地域づくりのために、地域住民の立場にたって、地域の福祉を担うボランティアです。また、主任児童委員は、子どもや子育てに関する支援を専門に担当する民生委員・児童委員です。

地域の身近な相談役として、地域に寄り添いご活躍されている民生委員・児童委員は、川南町民の安心安全な福祉のまちづくりの実現に欠かせない役割を担っています。

民生委員・児童委員の任期は3年であり、今年も全国一斉改選が行われます。民生委員・児童委員の活動に御理解と御協力をお願いします。

詳しくは、福祉課社会福祉係(☎0983-27-8007)又は[宮崎県民生委員児童委員協議会ホームページ](#)まで



令和4年度戦没者遺児による慰霊友好親善事業への参加者を募集しています

日本遺族会は、「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の参加者を募集しています。この事業は、厚生労働省から補助を受け実施しており、先の大戦で父等を亡くした戦没者の遺児を対象として、父等の戦没した旧戦域を訪れ、慰霊追悼を行うとともに、同地域の住民と友好親善を図ることを目的としています。

費用は、参加費として10万円で、付添い希望者は要相談となります。

なお、参加者の高齢化を考慮し、看護師が同行します。

日程等の詳細は、[日本遺族会事務局](#)(☎03-3261-5521)まで、お申込みは、[宮崎県遺族連合会](#)(☎0985-22-2858)まで、御連絡ください。



若者の就労を支援します

「みやざき若者サポートステーション/サポステ・プラス」ではこれから就職しようとする方々の悩みや不安に関する個別相談、適職診断、職場体験等を行っています。一人ひとりのペースにあわせた支援で就労へと導きますので、ぜひ御利用ください。秘密厳守/利用無料/相談は、お一人約50分の予約制です。

【対 象】就職を目指す15歳から49歳の無業の方とその家族

【相談予約】お電話いただき、相談日時・会場を決定します。※Web相談も可能です。

詳しくは、みやざき若者サポートステーション/サポステ・プラス(☎0985-25-4345)又は[Web](#)で



『サマージャンボ宝くじ』と『サマージャンボミニ』が発売されます！

「サマージャンボ宝くじ」と「サマージャンボミニ」が、7月5日(火)から8月5日(金)まで販売されます。サマージャンボ宝くじは1等前後賞合わせて7億円！サマージャンボミニは1等3,000万円！PCやスマホからもネットで購入できます。ぜひお買い求めください。

この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

詳しくは、宝くじコールセンター

(☎0570-01-1192(ナビダイヤル 有料)、011-330-0777(有料))又は[Web](#)で



令和5年度鹿児島障害者職業能力開発校入校生を募集します

障がいのある方を対象に、入校生を募集します。

- 【募集期間】 A日程 令和4年8月1日(月)から9月15日(木)まで
B日程 令和4年10月21日(金)から11月24日(木)まで
C日程 令和5年1月4日(水)から2月15日(水)まで

【募集訓練科】 情報電子科、グラフィックデザイン科、OA事務科
介護福祉サービス科、アパレル科、ワークトレーニング科

【申込方法】 鹿児島障害者職業能力開発校又はお近くのハローワークにお問い合わせください。

詳しくは、鹿児島障害者職業能力開発校 (☎0996-44-2206) 又は [Web](#) で



海上保安官を募集します

海上保安大学校学生採用試験 (2023年4月入学)

【受付期間】 令和4年8月25日(木)から9月5日(月)まで ※インターネット受付

【試験日】 第1次試験日 令和4年10月29日(土)、10月30日(日)

【受験資格】 ・令和4年4月1日において高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して2年を経過していない者及び令和5年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者

・人事院が上記に掲げる者と同等の資格があると認める者

詳しくは、第十管区海上保安本部総務部人事課 (☎099-250-9800) 又は [Web](#) で



簿記・パソコン Word・IT事務会計科の訓練生を募集します

東児湯高等職業訓練校では8～9月開講コースの訓練生を募集しています。

●簿記コース (どなたでも受講できます。)

【日時・料金】 令和4年8月30日から11月10日まで 火・木曜日(祝日を除く)
午後6時30分から9時30分まで 28,000円(消費税、教材費込)

【申込締切】 令和4年8月19日(金)

●パソコン Word コース (どなたでも受講できます。)

【日時・料金】 令和4年9月22日から12月6日まで 火・木曜日(祝日を除く)
午後6時30分から9時30分まで 25,000円(消費税、教材費込)

【申込締切】 令和4年9月9日(金)

【お問合せ】 東児湯高等職業訓練校 (☎0983-22-2135) 又は [Web](#) で

●IT事務会計科 (求職者向けの訓練です。)

【日時・料金】 令和4年9月21日から12月20日まで 毎週月～金曜日(祝日を除く)
午前9時から午後4時まで 無料(教材費12,970円、資格取得に伴う受験料は自己負担)

【訓練内容】 パソコン操作、Word、Excel、PowerPoint、リモートワーク活用、簿記、電子会計実習、人間力開発講習、就職支援等

【申込締切】 令和4年8月25日(木)

【お問合せ】 ハローワーク高鍋 (☎0983-23-0848) ハローワーク宮崎 (☎0985-23-2245)

詳しくは、東児湯高等職業訓練校 (☎0983-22-2135) 又は [Web](#) で



囲碁教室を開設しています

囲碁に興味をお持ちの人を対象に、毎週土曜日に囲碁教室を開設しています。老若男女、初心者、経験者どなたでも大歓迎です。少しでも興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

【日時】 毎週土曜日午前10時から正午まで 【場所】 喜多医院の西側

【講師】 川南囲碁クラブ会員 【受講料】 無料

詳しくは、川南囲碁クラブ (☎0983-27-6655、090-1165-0899) まで

サン A 川南文化ホール貸館の御案内

サン A 川南文化ホールの研修室は、100 名まで利用できます。
室内には、サーキュレーター、空気清浄機など完備。また Wi-Fi も利用可能です。
Wi-Fi を利用の際は、予約時にスタッフにお伝えください。
貸館見学・予約も随時受付中です！
詳しくは、サン A 川南文化ホール・図書館複合施設（☎0983-27-7111）、ホームページ、フェイスブックページで
川南町立図書館ホームページは「[川南町立図書館](#)」で検索



Facebook

夏のイベント「サマー★ライブラリー2022」の御案内

「サマー★ライブラリー2022」を開催します！
【内容】・調べる学習講座 ・読書感想文教室 ・読書感想画教室 ・こども司書講座
・プログラミング教室 ・ボードゲームであそぼう など
一部、お申し込みが必要な内容があります。詳細はチラシを御確認ください。チラシは、
図書館で配布しています。皆さまの御参加をお待ちしております。
詳しくは、サン A 川南文化ホール・図書館複合施設（☎0983-27-7111）まで
川南町文化ホールホームページは「[川南文化ホール](#)」で検索



「確かな未来」が会社を変える。



で退職金。

「中退共」は中小企業のための
国の退職金制度です。

① 国の退職金制度！

掛金の一部を国が助成します。

② 外部積立型でラクラク管理！

管理や運用の手間がかかりません。

③ 掛金は全額非課税でオトク！

節税に加え、手数料もかかりません。

- パートタイマーさんも
ご加入いただけます。
- 他の退職金・企業年金制度等
との資産移換も可能です。

詳しくは
ホームページをご覧ください

[中退共](#) [検索](#)

独立行政法人勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部 TEL(03)6907-1234 FAX(03)5955-8211



子育て支援センターの開所時間

9:00~16:00 (月~金)

※土日、祝日、年末年始はお休みです。

詳しくはこちら



記事検索 ID 1310

令和4年度 行政座談会 質疑応答記録（お知らせかわみなみ用概略版）



※5月に開催しました行政座談会の各会場で出された質疑・応答を要点集約し、役場ホームページ記載している内容の概略版です。

なお、紙面の関係上、質問及び回答番号が一連ではありません。

※より詳細な内容は、役場ホームページにて「令和4年度行政座談会」を検索いただくか、右のQRコードからご覧ください。

役場ホームページでは、座談会で使用した資料や町長の説明動画もご覧いただけます。

※今回の行政座談会の資料に関連のない内容につきましては、記載しておりません。

令和4年6月 川南町

Q 1	<p>本町には、唐瀬原中学校並びに国光原中学校という立派な中学校が2つある。この既存施設を使い続けようとせず、なぜ新しい中学校を町の中心部に作ろうとするのか。</p> <p>既存の両中学校は施設の長寿命化対策を実施しており、今後約30年近く使えると聞いている。もったいないと思わないのか。今ある両校を大切に使うべきではないのか。若しくはどちらかの中学校を利用し統合するべきではないか。</p>
A 1	<p>未来を担う子どもたちのより良い教育環境づくりは、行政をはじめ今を生きる大人たちの手でしっかりと確保、担保しなければならない責任があると強く考えております。そのようなことから、新中学校の統合に関する計画や問題提起等につきましては、本格的には平成28年度からあらゆる場を通じて丁寧に進めているところであります。その背景には子どもの減少、つまり少子化が一層進むということが見込まれるからであります。少子化に起因する現状においての具体例を申し上げます。国光原中学校は本年3月に3年生61名が卒業しました。それに対して4月の入学生は38名でした。中学校は2年生、3年生は40人定数です。1年生は35人定数であります。よって、現在国光原中学校の1年生は2学級体制を確保しておりますが、2年生になる来年度は1学級に減少する見通しです。また、子どもの数が減ることは職員の配置が少なくなることを意味しています。実際に同校では、子どもの減少に伴い専門教科以外の教諭が3名教えている状況にあるのです。同時に部活動の減少も進んでいる状況です。このように、子どもの減少により様々な影響が出ております。</p> <p>また国は、中学校の規模の適正基準として、12学級から18学級と示しております。統合することにより令和8年度の新中学校は、12学級を少し超える規模を見込んでおります。このような諸条件に対応するために、町の中心部に切磋琢磨できる新たな環境整備の計画を議会に提案し、可決いただいたのです。この結果は地方公共団体の、つまり川南町の具体的政策を最終的に決定することが川南町議会に与えられた最も重要な「使命」の一つでありながらも、未来のために大変重い決断をしていただきました。このようなことから、政策の最終決定していただいた当該計画を執行する側の行政は、その達成が絶対命題であると考えます。</p> <p>最後に、既存の両中学校を引き続き大切に使うべき、等のご意見についてお答えします。既存の両中学校は、長寿命化対策を講じた結果、今後約30年の使用が可能であると推測しています。しかしながら、昭和40年代に建設したコンクリートの建物は、長寿命化を行っていても対応年数を過ぎている現実的な問題は解消されておりません。換言すれば老朽化は今もお進み続けています。つまり、対策を講じながらも対応年数を超えている問題は、子どもたちの学校生活上の安全安心に直結しているのです。</p> <p>このようなことから、町の中央部に新たに建設する計画を進めてまいりたいと存じます。</p>

令和4年度 行政座談会 質疑応答記録（お知らせかわみなみ用概略版）

Q 3	<p>令和3年2月から3月に行われた「新中学校についてのアンケート調査」は対象数が少ない。町内全ての世帯を対象に実施するべきである。アンケートの再実施を強く求める。</p>
A 3	<p>アンケート調査につきましては、調査の実施前に議会勉強会という場において全議員に対しアンケートの原案を説明しましたとともに、対象者の規模数等を示しました。そうしましたところ、議員の数名からアンケートの原案に対する加筆修正と、対象者の規模の増加を求められました。町としましては、寄せられた議員からご意見やご指摘、ご要望を反映した上でアンケート調査を実施しました。なお、具体的な対象者の増加数は、当初一般町民の数を200人としていたのですが、その2.5倍に当たります500人へと増加し実施したのであります。</p> <p>その結果、アンケート調査の規模は当時の町の世帯数の約3割相当数が対象となりました。アンケート調査の背景等は以上であります。また、統計学の視座から客観しましても、アンケートの対象数の妥当性は担保していると判断しておりますので、改めて町内全世界帯を対象としたアンケート調査を行なう考えはございません。</p>
Q 8	<p>町の計画では、既存の唐瀬原中学校と国光原中学校の両校を廃止する方針と説明されたが。その際には、町の学校条例に基づき議会の3分の2の同意を得なければならない。このような強い規定があるし、当然ながら手続きは合法性をしっかりと担保しながら進めてもらわなければならない。重大な案件なので住民から脱法行為の疑いを持たれない進め方が大切であるとも思う。脱法行為が無効となるわけだから。そこで伺うが、両中学校を廃止する条例の改正案はいつ提案する見通しなのか。こちらの議決が先ではないのか。今の町の進め方ではなく、両校を廃止する条例案を早急に議会に提案し、3分の2の同意を得た上で新中学校の計画を進めれば良いのではないのか。</p>
A 8	<p>他の自治体で多く見られる様に、周辺の中学校を町の中心部に存在する中学校に統合する場合であれば、ご意見のようにその他既存の中学校の廃止条例案の提出がすぐにも提出できます。しかしながら本町が計画しているケースでは、そのような取扱では進められない状況なのであります。仮の話で恐縮ですが、皆様がイメージしやすいように申し上げますと、既存の国光原中学校を唐瀬原中学校に統合しようとする場合は、既に「学校条例」の中に両校が明記されておりますので、国光原中学校のみ廃止する議案は今でも出せます。</p> <p>しかしながら現実には、町の中心部に新しい中学校を建設する計画で進めているのであります。つまり、現在の「学校条例」の中に新中学校名が明記されていない状態なのです。そうであるならば、既存の「学校条例」に新中学校を盛り込み、唐瀬原中学校と国光原中学校を廃止する条例案を提出すれば良いのではないかと、という発想を持たれる方も出てこられると思いますが、それが現状は「法的に不可能」なのです。では、何が不可能な原因であるかを申し上げますと、「学校条例」中に新たな中学校の名前を盛り込む条例改正案（既存の両中学校も同時に廃止する条例改正案）を議会に提出する場合は、「略～必要な予算上の措置が適確に講ぜられる見込みが得られるまでの間は、これを議会に提出してはならない。」と地方自治法第222条に定められているからなのです。従って当該予算を計上できる状態になってようやく、「学校条例」の一部改正案を提出し、議会の議決をしていただくこととなります。よって、3分の2の同意を得ることを無視しているという状況ではないということ、法律上出せない状態であるということをご理解いただきたいと存じます。</p>

令和4年度 行政座談会 質疑応答記録（お知らせかわみなみ用概略版）

Q 6	<p>現在建設中の総合福祉センターの支払をはじめ、現時点として積算している新中学校の建設費約44億円の額を合わせると約60億円規模の予算を投じることとなる。取り巻く諸般の状況等を考えると、物価が上昇し現状の見積額を上回るのではないかと心配する。しかしながら先般、町内全世帯に配布された町の広報誌を読むと、このような莫大な投資があっても町民の税負担は増えないと明記されていたが、その論理を簡潔に教えてほしい。</p> <p>2点目は、現時点において、小中一貫校は考えていないとのことだが必要な状況となった場合の見解を説明願いたい。</p> <p>3点目は、交流拠点施設であるプラッツ内のテストキッチンの利用実績と今後の対応とともに、町の地場産品の売上高と全体に対する売上比率等を教えてほしい。</p>
A 6	<p>まず、町の借金であります起債が約60億円。一方、基金が約53億円積み増しております。今後もこの基金の積み増しを見込んでいます。その理由ですが、「ふるさと納税」が順調に推移しているからです。このようなことから、ある程度の物価変動には対応できるものと見込んでおります。同時に、新中学校の建設には、国からの補助金と教育関係の起債の活用を見込んでおります。なお、当該教育関係の起債は、その元金利息に対して国から69%分が交付税措置される有利な起債を活用します。加えて、公共施設へ投じるための積立金も約18億円積み立てておりますとともに、今後も引き続き積み増す予定です。また住民税を含め町税は役場が勝手に増税できません。このようなことから、新中学校の建設を理由とした増税はありません、と明記しました。</p> <p>2点目の小中一貫校に関してですが、学校の校舎面積についても小学校と中学校ではその基準が違うことに加え、その他諸条件が整わないと進められません。よって、現時点では小中一貫校は想定にございません。</p> <p>なお、近隣では木城町が小中一貫を進めております。他方、先んじて小中一貫校に取り組んだ西都市でしたが、中学生の減少対策を講じるため既存の小中一貫校の継続を変更し、1つを除く市内の全中学校を、市の中心部に存在する妻中学校に統合することとなっている状況を申し添えます。</p> <p>3点目のテストキッチンについては、コロナの影響が続き把握している限りでは民間の方が1回利用されたのみです。ただ、まちづくり株式会社自体が様々利用しているようです。せっかくある施設なので利用促進を図ります。次に、地場産品の売り上げ比率等詳細については本日資料を持ち合わせていないので準備しお伝えします。地場産品の増加対策も力を抜くことなく取り組んでまいります。</p>
Q 14	<p>役場から先日町内全世帯に配布された新中学校に関するチラシを見ると、新設される中学校には、各種補助金等を活用するような記載がありながらも、唐瀬原中学校を利用した場合の説明にはその文言が抜けている。唐瀬原中学校を利用する場合にも補助金を申請するのであれば、それを記載しないと公平ではない。きちんと公平に情報出していないから不満が募る。バイアス（偏り）を感じる。</p> <p>加えて、資料も種々具体的な数字が出てきていない箇所がある。プラッツにしても黒字化したとか、以前に比べていくらこうなったという数字がまるっきり出されてない。具体的、客観的なものが見える資料を提示していただきたい。中学校の問題に関しても公平な資料が出るようご検討いただきたい。</p>
A 14	<p>必要なもの、数字の提示等含め疑念を持たれないよう今後も行ってまいります。</p>

令和4年度 行政座談会 質疑応答記録（お知らせかわみなみ用概略版）

Q 2	<p>本町の基幹産業は農業であるが、その基幹産業がもっと儲かるようなビジョン、計画はあるのか。農業を基盤とする関連産業含めた活性化への展望はあるのか。</p>
A 2	<p>先日、総合商社の大手であります双日と、連携協定を締結いたしました。締結の目的の一つとしましては、園芸農家の経費節減に寄与できるような環境整備を構築するためでもあります。カーボンゼロの取組も進めながら、現在高騰しております化石燃料から木質バイオマス燃料への移行が経済活性化へのカギを握ると考えております。</p> <p>具体的な取組計画としましては、ハコヤナギという早生木を植林し5年後に収穫。それを加工したものを施設園芸の燃料とする計画を持っています。このような経費削減対策をはじめ環境負荷にも寄与できる持続可能な儲かる農業への振興を図ってまいります。</p>
Q 10	<p>新中学校を町の中心部にした経緯を教えてください。他の候補地の検討はなされたのかも含めて。</p>
A 10	<p>新中学校の建設予定地を町の中心部にした理由を端的に申し上げますと、子どもたちにとっての教育環境をより良くするために中心地に持ってきたというのが最大の理由です。町の中心地で、様々な町民との交流ができたり、図書館があったり、それから文化ホールがあったり、そして運動公園があったりと、そのような充実した環境の中で学生生活を過ごしてもらいたいと考えた結果であります。同時に、住民アンケートで得た民意の意向も考慮したからでもあります。次に、他の候補地については、住民アンケート中に既存の唐瀬原中学校と国光原中学校も候補地として明記しております。その他、役場から西にある祝子塚（ほらつか）地区や国立療養所のグランド近辺、それから見晴（みはらし）地区が候補地として出ました。役場から西にあります祝子塚地区と見晴地区ですが、基幹産業であります農業・農地の一級地であるためそこは候補地から除かれました。また国立療養所については、その敷地を分割することはできないという相手側の意向を受けたことから除外となりました。最終的には、コンパクトシティを進める観点や先ほど述べました住民アンケートの民意も考慮した結果、新中学校を町の中心に持っていくこととなりました。</p>
Q 11	<p>新中学校を町の中心部に建設する計画が決定したのだから、次は校舎等含む建築計画をしっかりと考えてほしい。子どもたちの教室の配置はもとより職員室の適切な配置などである。また、人や自転車、自動車などの交差、安全性の確保。それらをしっかり協議していただきたい。また一番大事なのはこれからの50年先だと思う。やっぱり子どもたちがこの学校でよかった、というような学校を建設してほしい。それと同時に、以前、大阪府池田市の池田小学校で悲惨な事件があったが、あのようなことが無いようなセキュリティ対策も講じてほしい。また、保護者や教職員、専門家等の意見を取入れつつ、議論を進めてほしい。最後に、学生の学力向上対策もしっかり行ってほしい。</p>
A 11	<p>学校の施設については、頂戴したご意見を生かしていきたいと考えます。セキュリティ対策についても同様であります。同時に新中学校は防災の拠点でもあるという観点からも、双方が充実したものにしたいと考えます。学力向上対策については、読解力向上を目的に現在、リーディングスキルテストというものを導入しています。加えて、宮崎大学との連携もさらに進め、教員の質も上げながら子供たちの学力向上を図ってまいります。また、引き続き英検3級の取得も目指します。加えて、2年前から開始した両中学校と民間学習塾との連携を通じて、高校入試対策強化も行ってまいります。このようにハード面もソフト面も、そして子どもにとっても保護者にとっても安心して子供を預けられるような学校を、オール川南で作り上げていきたいと考えております。</p>